



2024年4月19日

新型クロスオーバーSUV「MAZDA CX-80」を欧州で初公開

-マツダとして欧州初の3列シートSUV。2つのハイブリッドシステムを採用した最上級モデル-

マツダ株式会社(以下、マツダ)は、欧州事業を統括する「Mazda Motor Europe(マツダ・モーター・ヨーロッパ)」が新型クロスオーバーSUV「MAZDA CX-80(マツダ シーエックス エイティ)」を、4月18日(現地時間)に初公開したことを、本日発表しました。欧州で5月に予約受注を開始し、今秋の発売を予定しています。



MAZDA CX-80(欧州仕様)

CX-80は、ひと中心の開発思想による走る喜びと環境・安全性能を両立させた、ラージ商品群の第4弾¹となるミッドサイズクロスオーバーSUV²です。マツダが欧州に初めて導入する3列シートSUVであり、欧州市場における最新かつ最上級の商品となります。2つのハイブリッドシステムを採用したCX-80の導入により、同市場における商品ラインアップの拡充およびブランド強化を図ります。

CX-80の開発で目指したものは「優雅で心豊かなドライビング SUV(Graceful Driving SUV)」です。マツダ最上級にふさわしい美しく堂々とした存在感、マツダらしい「人馬一体」を磨き上げた圧倒的な走行性能、時代要請に応える環境・安全性能、そして乗員全員が快適に楽しめる懐深い実用性を、妥協なく実現しました。CX-80を通してお客さまとご家族との生活に、心豊かになる時間や場面をお届けしたいという想いを込めています。

デザインコンセプトは「Graceful Toughness」。SUVとしての力強さとともに、優雅な存在感の表現に注力しました。空間の豊かさと優美さを両立したキャビンの造り込みによって、車格に見合った、ゆとりを感じさせるデザインとしています。CX-80の2列目は、座席間にコンソールがあるセパレートのキャプテンシートを筆頭に、キャプテンシートでコンソールが無くウォークスルーが可能な仕様、そして3人掛けとなるベンチシートの3種を設定し、お客さまの異なるニーズにお応えします。また、荷室は3列目シート使用時でもゴルフバッグやベビーカーが搭載できる空間を確保するとともに、2列目・3列目シートを折りたたむことでさらに大きな空間を提供。家族旅行や、仲間とのアクティビティに必要な荷物を搭載できます。

欧州向けのパワートレインには、2.5L直列4気筒ガソリンエンジンをベースとしたプラグインハイブリッドシステム「e-SKYACTIV PHEV」と、3.3L直列6気筒ディーゼルエンジンとM Hybrid Boostを組み合わせた「e-SKYACTIV D」の2種類を設定。³意のままにクルマを操る楽しさと優れた環境性能の両立を目指しました。

欧州市場で販売するマツダ車の中で最も広い室内空間を持つ CX-80 は、後席の乗員も含めた全ての乗員に安心・快適な乗り心地を提供します。日常使用での快適さや扱いやすさを大切にしながら、高速道路やワインディング、アウトドアなどさまざまなシーンにおいて「人馬一体の走る喜び」をお届けします。

安全性能では、「クルージング&トラフィック・サポート(CTS)緊急停止支援機能付」*4 を欧州向けに初採用。CTS 使用中に、手放し運転やドライバーの閉眼や脇見を検出した場合には、ドライバーへの注意喚起を段階的に行い、体調急変や漫然運転などのドライバーの状態に由来する事故リスクの低減を図ります。注意喚起をしてもドライバーの状態に変化がない場合は、被害軽減のため、車両の減速・停止を支援します。

マツダは、今後も「ひと中心」の価値観のもと「走る喜び」を進化させ続け、お客さまの日常に移動体験の感動を創造し、「生きる喜び」をお届けしていくことを目指してまいります。

- *1 第 1 弾は「MAZDA CX-60」(導入市場:欧州、日本、その他)、第 2 弾は「MAZDA CX-90」(導入市場:北米、その他)、第 3 弾は「MAZDA CX-70」(導入市場:北米、その他)となります。
- *2 マツダ基準による分類です。
- *3 パワートレインのラインアップは市場により異なります。
- *4 CTS の設定は、市場やグレードにより異なります。システムが作動しても、衝突や路外逸脱を完全に防止できるものではありません。「CTS 緊急停止支援機能付」作動に伴う責任は運転者にあります。機能を過信せず安全運転を心掛けてください。

以上